

# わたしのまちづくり



「市民主体のまちづくり」と言われてみなさんは何か具体的なイメージがありますか？  
ここでは、主体的に活動している市民を情報課職員が取材して紹介します。



日本棋院プロ棋士

はね やすまさ  
羽根 泰正 九段

今回は、長久手市民で、市の生涯学習講座である  
囲碁講座の講師をして下さっている、日本棋院  
プロ棋士の羽根泰正さんにお話を伺いました。

情報課職員(以下「情」)：今日はよろしくお願  
いします。早速ですが、生涯学習講座で行って  
いる囲碁講座について教えてください。

羽根泰正さん(以下「羽根」)：囲碁講座は、毎年7  
月から8月までの間で5回行っています。  
普通碁盤は縦と横に19本ずつ線が引かれた  
19路盤が正式なものです。これを縦と横  
に7本ずつ線が引かれ、最小までしぼった  
7路盤や、入門でよく使用する9本ずつ線  
が引かれた9路盤を使って、基本のルール  
やマナーをわかりやすく説明しています。  
子どもから大人まで、一人でも家族でも、  
どんな人でも囲碁の楽しさを知ってもらえ  
るような講座となっております。

情：どの世代の人でも参加しやすい講座なの  
ですね。この講座に携わることになった  
きっかけは何ですか。

羽根：生涯学習講座で囲碁講座を開講する時に、  
講師をしてもらえないかとお願いされた  
のがきっかけでした。それ以来、長久手囲碁

クラブの九星会のみなさんの力も借り

ながら毎年講座を行っています。講座  
以外にも西小学校の放課後子ども教室  
でも囲碁を教えていて、子どもたちが  
楽しそうに囲碁を打っているのを見る  
と嬉しくなります。囲碁は、やったこと  
がない人から見たら少し特殊なゲーム  
に感じるかもしれませんが、この講座  
をきっかけに、ぜひ家族で囲碁を覚え  
て楽しんでもらいたいと思いながら講  
師をしています。

情：講師をしていてどんなことにやりがい  
を感じますか。

羽根：それは、以前この講座を受講した人が、  
別の場所で継続して囲碁を打っている  
ことを知った時で、あの時は嬉しかっ  
たです。囲碁は、自転車に乗ることと同  
じように、一度覚えるといつまでも  
覚えているので、一生楽しむことがで  
きます。そのためには、やはり継続して  
もらうことが大切ですので、講座を受  
講した人が、受講後も継続して囲碁が楽  
しめるように場所を増やし、それと合  
わせて囲碁ができる人も増やしてい

たいと思っています。

情：それでは、羽根さんから市民のみなさ  
んにメッセージをお願いします。

羽根：先ほども話しましたが、囲碁は一度覚  
えてしまえば幅広い世代の人で楽しめ  
るものです。しかし、囲碁は必ず相手が  
必要で、一人で続けていくことは難し  
いと思います。そんなとき一番身近な  
つながりである家族と囲碁を楽しんで  
みてください。楽しいと思うことは継  
続することの第一歩です。一番近くに  
いる家族と楽しみを共有することで続け  
ることができ、楽しいことは人に伝え  
たくなります。そうして囲碁を通じて  
多くの人とつながりができると思いま  
す。まずは家族で囲碁を始めてみませ  
んか。



## プロ棋士羽根泰正の家族で囲碁講座～入門編～ 問 生涯学習課 ☎61-3411

時 7月26日(火)、27日(水)、8月2日(火)、3日(水)、5日(金)〈全5回〉18:30～20:00

場 文化の家 美術室

内 講師：羽根泰正 九段(日本棋院プロ棋士)

対 市内在住・在学・在勤で3歳以上の人 24人(先着)

※6月14日(火)時点で定員に満たない場合、市外の人でも申込み可。

¥ 《受講料》大人1,500円(全5回分、高校生以下無料)

《教材費》710円(家族で参加の場合:1家族710円)

持 筆記用具

申 6月1日(水)10:00～22日(水)に文化の家窓口(生涯学習課)または  
電話で申込。

「Weeklyながくて」でも羽根さん  
の活動の様子を取材しています。

Weeklyながくては  
こちら

